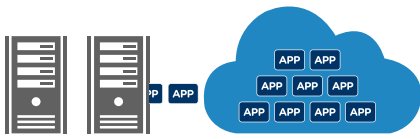


Virtual Private Cloud OnDemand の 3つの主なユースケース

VMware vCloud® Air™ Virtual Private Cloud OnDemand は、IaaS（サービスとしてのインフラストラクチャ）としてご利用いただけるサービスで、必要なクラウド コンピューティング リソースにいつでも安全かつ即時にアクセスできます。期間を定めて契約をする必要はありません。

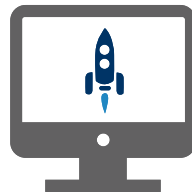
VMware vSphere® 環境と完全な互換性を持つクラウドをすぐに運用開始できます。

Virtual Private Cloud OnDemand はビジネスにも活用可能です。
そこで、主な使用例を3種類ご紹介します。



1 データセンターの キャパシティの拡張

期間限定のマーケティング キャンペーンの展開、新しいアプリケーションの発表などの場面を考えてみましょう。Virtual Private Cloud OnDemand では、コンピューティング キャパシティを従量課金制で利用できるため、需要のピークや一時的な変動にも柔軟に対応できます。CPU、メモリ、ストレージの割合を正確に指定して、リソースを購入することができます。サイズ調整や利用の停止を必要に応じて動的に行うことができるため、リソースを過剰に購入したり、余剰リソースが発生したりして予算を無駄にすることはありません。



2 開発 / テスト 期間の短縮

競争上の優位性と市場におけるリーダーとしての地位を確保しながら顧客からの要望に応えるためには、自社の製品やサービスをいち早く市場に投入する必要があります。Virtual Private Cloud OnDemand を使用することで、チームのメンバーが各自でリソースにアクセスできるようになります。クラウドに複製したテスト環境を、オンサイトの vSphere 環境に合わせて短期間で本番用の基準に適合させることが可能です。クラウドとオンサイトのデータセンターの間でワークロードを移行する際も、コードの再作成や再構成を行う必要はありません。



3 クラウドの テスト運用

クラウドが自社のビジネスに適しているかどうかわからない。クラウド サービスを本格的に導入する前に、リスクの少ない方法で試用してみたい。Virtual Private Cloud OnDemand は、こうした場合に最適な選択肢です。価格交渉をして注文書を発行したり、長期契約を交わしたりする必要はありません。利用を開始するために必要なものは、ブラウザとクレジット カードだけです。ニーズや予算に合わせてリソースのキャパシティを動的に拡張または縮小できます。料金は使用量に応じて決まり、1か月単位で課金されます。

導入方法については、

<http://vcloud.vmware.com/jp/service-offering/virtual-private-cloud-ondemand>
をご覧ください